

令和7年度 予算案

令和7年度の一般会計予算は、荒川区の明るい未来につなげるため、区民の皆さんが真に必要なとする取り組みへ重点的に予算配分するとともに、既存事業を見直しました。この結果、前年度と比べ8.2%増の1319億円となりました。

問合せ 財政課 ☎内線2121

各会計の7年度予算額

一般会計	1319億3000万円
国民健康保険事業特別会計	229億3700万円
後期高齢者医療特別会計	57億2700万円
介護保険事業特別会計	202億4800万円
計	1808億4200万円

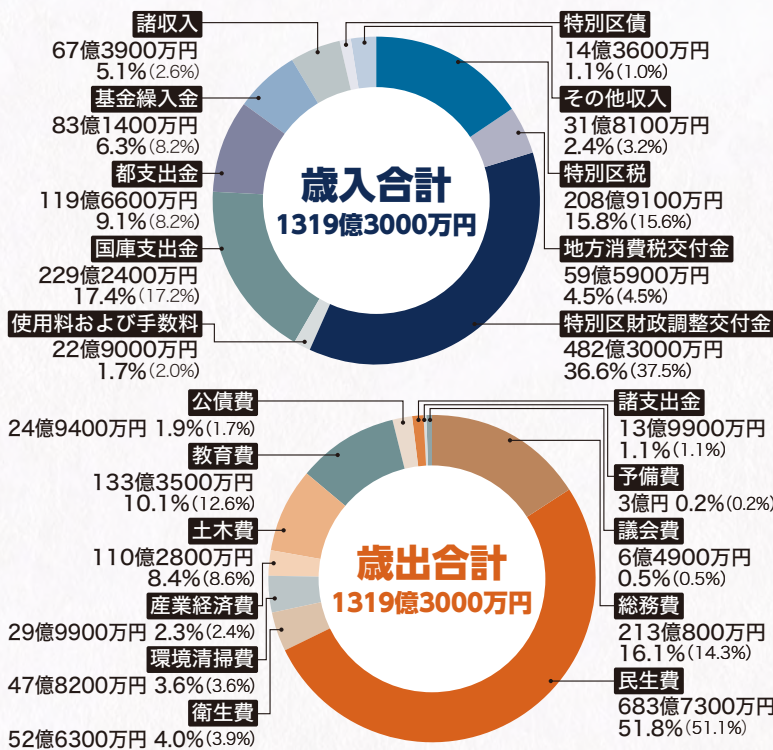
区の予算の使いみち

令和7年度の区の一般会計予算の総額を1000円と見なして、分野別に使う金額を示したものです。

民生費	518円	高齢者・障がい者等の福祉や子育て支援等
総務費	161円	安全・安心や区民施設の運営、文化振興等
教育費	101円	学校や幼稚園の運営等
土木費	84円	公園や道路の整備、再開発等の街づくり
衛生費	40円	区民の健康を守ること等
環境清掃費	36円	清掃や環境保護、リサイクル事業等
産業経済費	23円	産業や観光の振興、就労支援等
議会費	5円	議会の運営等
その他	32円	区債や基金の管理等

歳入歳出の内訳

※()内は、令和6年度当初予算の構成割合



予算案の重点事業

各重点事業の詳細は、荒川区ホームページ(右の二次元コード)をご覧ください。



子育てを支え、子どもたちを守る

●区立学校等の補助教材の一部および修学旅行費用等の無償化 5億4923万円

区立学校および特別支援学校に通う児童・生徒の保護者が負担している補助教材費用の一部、遠足・宿泊行事の参加費用等の負担軽減を図ります。

●区立小学校全児童への防災キャップの配備 5027万円

災害時に火災や落下物から頭部を守るため、23区初の取り組みとして区立小学校全児童へ防災キャップを配備します。

●小児インフルエンザ予防接種の無償化 9304万円

生後6か月から中学校3年生までの子どものインフルエンザ予防接種費用を原則無償化し、子育てサービスを拡充します。

●学校給食無償化における補助単価の拡充 8億9453万円

●特定不妊治療費(先進医療)助成事業 932万円

●子どもの居場所づくり地域支援強化事業 5644万円

●保育施設に対する補助の拡充 8599万円

●公園における遊び場の充実 1782万円

学びの環境を整え、可能性を広げる

●中学校部活動の「地域連携」の取り組み 574万円

部活動指導のノウハウがある民間企業や区内スポーツ団体を活用したモデル校での地域連携事業を開始し、教員の負担軽減や、生徒達がスポーツに継続して取り組める環境の整備を進めます。

●区立中学校「あらかわ寺子屋」の外部委託化 1565万円

●エデュケーション・アシスタント配置事業 1億4928万円

●心の健康観察アプリの導入 365万円

ひとりの命も犠牲にしない

●防災・防犯カメラのネットワーク化 2億2268万円

大規模災害や緊急事案の発生時に迅速な情報収集を行うため、防災・防犯カメラのネットワーク化を図ります。

●地域防災リーダーの育成 241万円

防災士資格を持つ区民を、「あらかわ防災リーダー」として登録し、防災訓練や啓発活動で専門的な助言や支援を受けることにより地域防災力の向上を図ります。

また、中学生・高校生の防災士資格取得費用を全額補助し、未来の防災リーダーを育成します。

●マンション防災対策の推進 6054万円

分譲マンションの管理組合に対し、コンサルタントの派遣や防災資機材の購入補助等を実施し、居住者の在宅避難の普及を図ります。

●耐震化の推進 1億675万円

旧耐震基準に加え、グレーゾーンと呼ばれる期間に建築された木造住宅や現行の耐震基準を満たさない非木造住宅の所有者に対し、耐震診断や耐震化に要する費用の一部を助成します。

●備蓄物資の充実 2億7917万円

●火災対策の強化 6682万円

●防災アプリの充実 1468万円

健康寿命ナンバーワンへ

●高齢者インフルエンザ予防接種の無償化 1億8386万円

高齢者のインフルエンザワクチン接種費用を無償化し、医療機関のひっ迫防止や福祉施設の負担軽減を図ります。

●健康アプリを活用した健康づくり支援 2015万円

楽しみながら気軽に健康増進につなげる健康アプリの内容を充実し、働き盛り世代を中心に多くの世代の利用を促し、区民の健康づくりを支援します。

●骨粗しょう症検診 1129万円

女性に対する骨密度測定検診を実施し、健康寿命延伸につなげます。

●居住支援の充実 1966万円

●生活困窮世帯を対象とした子どもの学習・生活支援の充実 2216万円

●障がい者の相談支援事業所の体制整備 1767万円

産業・観光の発信そして成長へ

●近隣区と連携した周遊性の向上と区内誘客の促進 2967万円

区内外からの誘客を促進するため、日暮里地域でのイベント、近隣区と連携した「文学館めぐり」・デジタルスタンプラリーを実施します。

また、新たな観光ガイドマップの作成やSNS等による積極的な観光情報の発信を行います。

●地域経済の活性化・観光プロモーション推進のための協議会設置 113万円

区民や事業者等が主体となり、区の地域経済活性化および観光プロモーションを戦略的に推進していくための協議会を設置し、地域経済活性化の方向性や、区の魅力・観光資源の発掘、区内外への戦略的なプロモーション等を検討します。

●公衆浴場に対する支援の充実 820万円

●区内中小企業に対する制度融資の充実 3億5085万円

世代や地域がつながり、若者の活躍へ

●高校生の海外交流支援の充実 325万円

民間プログラム等を活用した「高校生海外交流等支援事業」を実施し、国際交流にチャレンジする高校生を応援します。

●町会・自治会のデジタル活用促進支援 300万円

町会の担い手不足解消や負担軽減等のため、町会のLINE活用経費の補助等、デジタル化に向けた町会・自治会の取り組みを支援します。

●青年の地域活動支援の充実 268万円

ゼロカーボンシティあらかわへ

●エコ助成のリニューアル(新エコ助成) 1億1597万円

断熱ドアや直管型LED照明器具への改修に対する助成を新たに開始するとともに、従来のエコ助成、省エネ家電助成、ZEH等助成の申請期間・方法を統一し、よりわかりやすい制度に改善します。

●公共施設等の照明LED化の推進 3億2571万円

学校施設の照明のLED化を9年度までの3年間で実施します。

また、7年度にすべての公立保育園等のLED化を実施するとともに、町会等が管理している私道照明灯もLED化し、省エネ化の推進・コストの削減を図ります。

●プラスチック回収の推進 3億6914万円

区議会の委員会質疑をケーブルテレビで放送

令和6年度荒川区議会定例会・2月会議「予算に関する特別委員会」の総括質疑を、CATVマイチャンネルあらかわ(地デジ11ch)で放送します。

総括質疑とは、区議会の各会派を代表する議員が、あらかじめ割り当てられた時間内で区長等に質問をすることです。

放送日時

3月10日(月)～16日(日)

▶午前9時～11時

▶午後6時～8時

※1日2回放送

※荒川区ホームページでも配信



問合せ 議会事務局企画調査係 ☎内線3616

区民ウォーキング

期 日 3月23日(日) 時 間 午前9時15分～午後0時15分

集 合 見沼代親水公園駅(足立区舎人2-21)

解 散 舎人公園(足立区舎人公園1-1)

対 象 区内在住・在勤・在学中、小学生以上の方(小学生は保護者同伴で)

定 員 30人(申込順)

内 容 見沼代親水公園駅から舎人公園方面(約5km)

申込み 3月3日(月)～14日(金)に電話で、スポーツ振興課スポーツ事業係

問合せ ☎(3802)4589

住民税均等割のみ課税世帯に給付金を支給

エネルギー・食料品価格等の物価高騰を踏まえ、住民税均等割のみ課税世帯に対し、給付金を支給します。令和6年2月以降に荒川区から給付金を本人口座で受給した方には、原則、前回の口座に振り込みます。それ以外の方は、区から順次確認書を送付します。申請方法等の詳細は、確認書をご覧ください。

対 象

令和6年12月13日時点で荒川区に住民登録があり、世帯全員の令和6年度住民税所得割が非課税の世帯※世帯全員の住民税均等割が非課税の世帯、または課税者に扶養された方のみ(世帯(扶養を受けている一人暮らしの学生世帯や、同居していない子どもの扶養を受けている世帯等)を除く

給 付 額

1世帯当たり3万円(18歳以下の児童1人当たり2万円を加算)

申請期限

5月30日(金)

問 合 せ 荒川区価格高騰給付金コールセンター ☎0120(984)054 ※(土)・(日)・祝等を除く、午前8時30分～午後5時15分

配偶者からの暴力(DV)等で避難している方へ

配偶者からのDV等を理由に避難している方は、避難中である証明書があれば住民登録のない避難先の自治体から給付金を受け取ることができる場合があります。証明書の発行手続きは、お問い合わせください。

問合せ

アクト21

☎(3809)2890